

黒石緑化まつりで緑を思う

5月10日、黒石市緑化推進協議会主催の第45回黒石緑化まつりが開催された。

緑化まつりは、苗木の即売を中心に、暮らしにみどりとうるおいを、を目指して実施しており、署はブルーベリーの苗木を提供し協力している。

市長の挨拶、県議の祝辞に続き、祝辞を述べさせていただいたが、来年は園児もいることだしもう少し気の利いたことをしゃべりたいと思う。

開会式のメインは、保育園児によるパレード演奏。一生懸命演奏するかわいらしい園児に、大人たちはみな笑顔になっている。

前任地岩手と同じくここ青森も緑に溢れた世界のように見えるが、市街地や身の回りには緑が少ないという認識からか、あるいは長い冬が終わり春の訪れを祝う気持ちからか、緑化に熱心だ。春の芽吹きや、花の賑わい、実りの喜びを通し、四季の移ろいを大事にする文化を感じた。

販売している苗木は、大きな樹木から、里山で春を告げる山野草まで様々だ。

帰路、市内の街並みを車内から拝見した。建物の表通りに設けられたひさしを「こみせ」と言うらしく、平成17年に重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、その後、「手づくり郷土賞・大賞」「美しいまちなみ・優秀賞」を受賞、「美しい日本の歴史的風土100選」にも選定されたという。

その新設や修繕などに森林環境譲与税が使われていると聞き、このような活用方法もあるのかと感心した。

緑や木のぬくもりを感じられる生活空間にしていきたいし、山野草や生き物に溢れた自然がすぐそこにあるのだから、自然そのものも楽しみたい。足を延ばしてみませんか。



津軽森林管理署長 山田亨